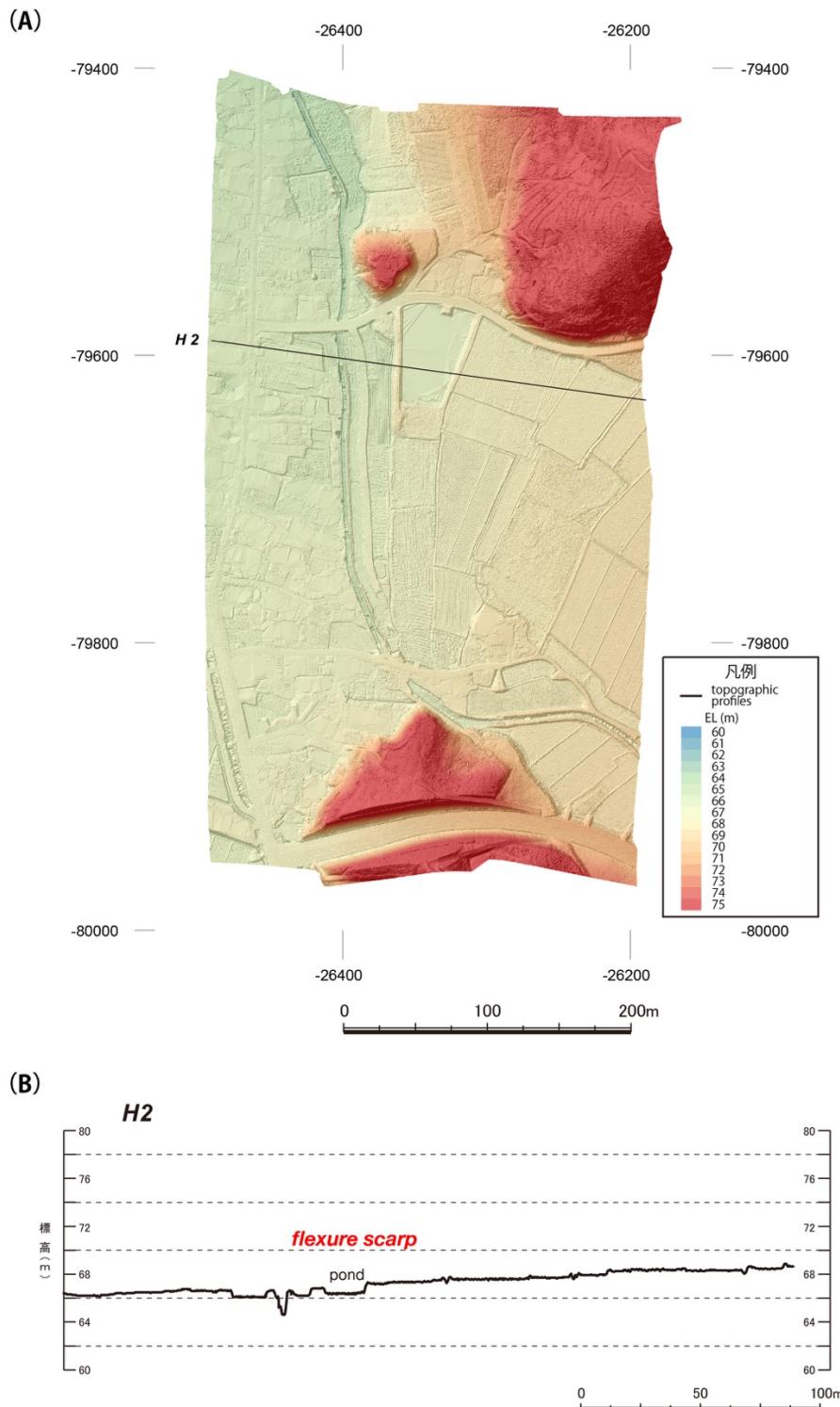
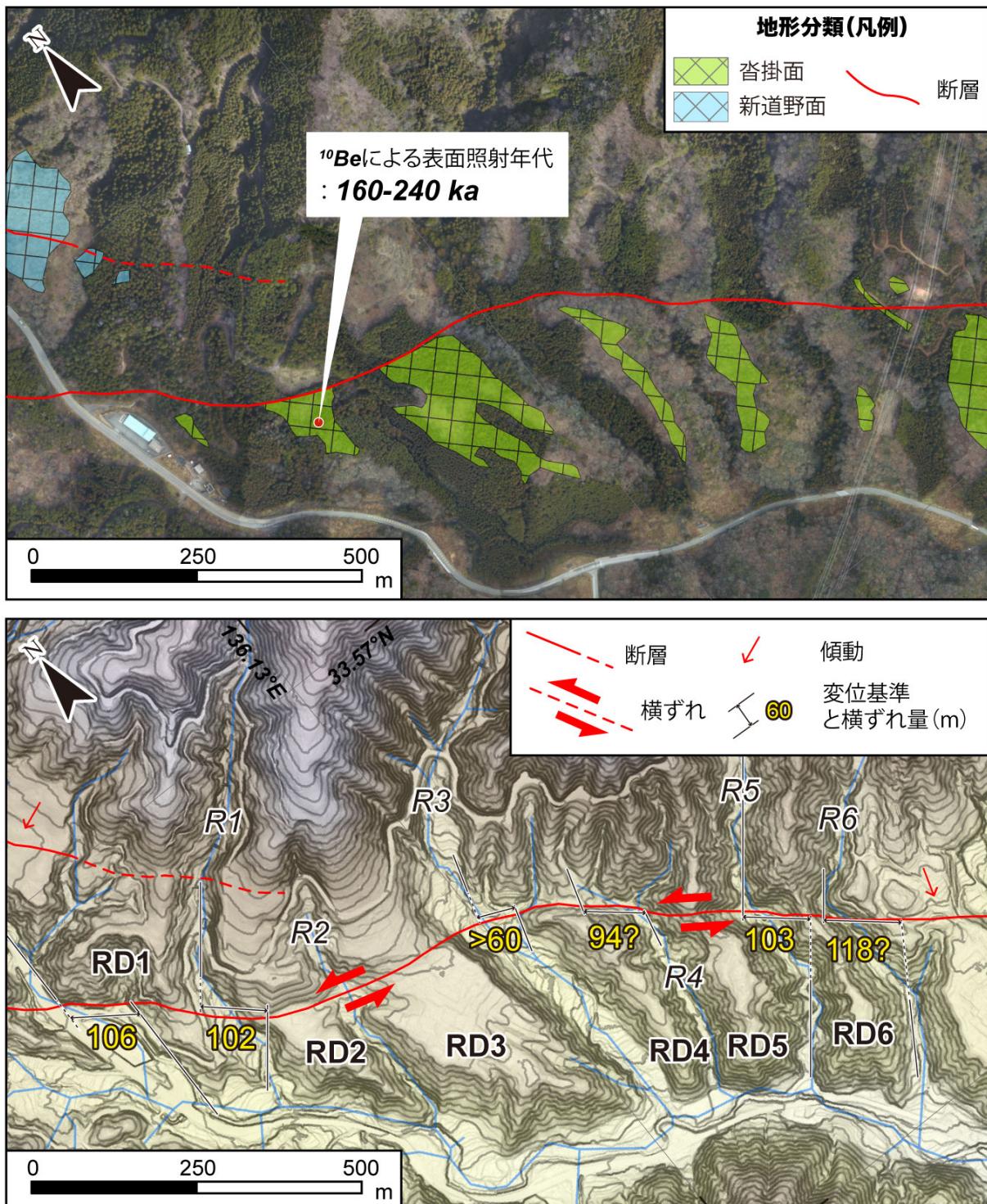


3. 1 横手盆地東縁断層帯（南部）



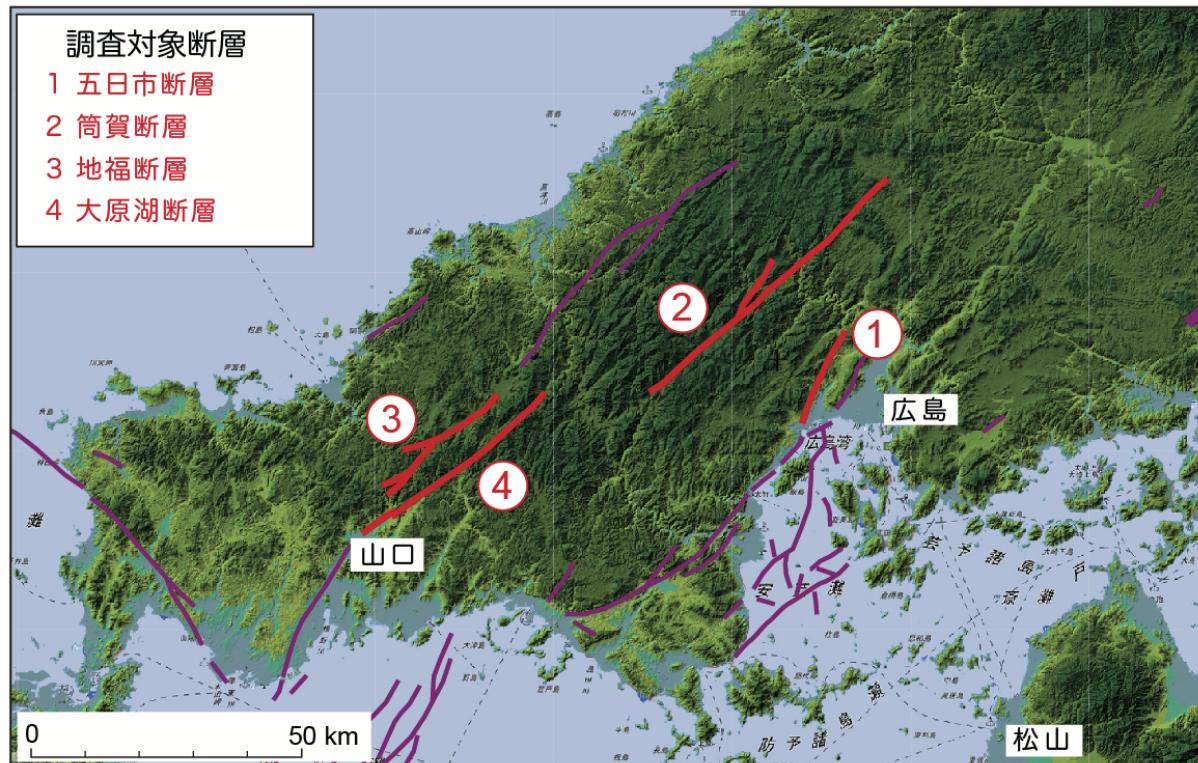
横手市平鹿地区におけるドローン LiDAR の結果。(A) 0.1m メッシュの数値標高モデルに基づく陰影図。(B) H2 測線の地形断面図。縦軸は 5 倍強調。沖積面上に幅 100m 前後にわたる範囲で西側低下の撓曲変形が認められた。

3. 2 野坂・集福寺断層帯（集福寺断層）の調査



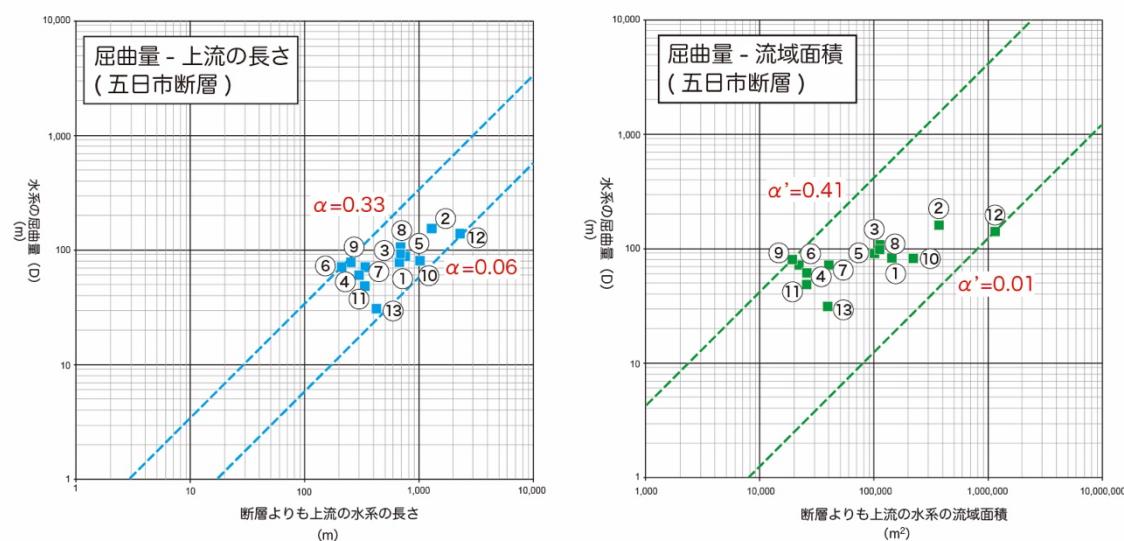
上図は滋賀県長浜市沓掛地区周辺で実施した航空レーザー測量によって取得された数値地形データ（1 m メッシュ）を元に作成したオルソ空中写真。集福寺断層は沓掛面の北東縁に沿って延びる。下図は地形データから作成した同範囲の地形陰影図（等高線は5 m 間隔）。沓掛面を下刻する河川に約100 m の系統的な左横ずれ変位が確認された。 ^{10}Be を用いた分析の結果、沓掛面について 160~240 ka の表面照射年代が得られ、変位量から 0.43~0.65 m/千年の左横ずれ変位速度が推定された。

3. 3 岩国－五日市断層帶（五日市断層区間）の調査



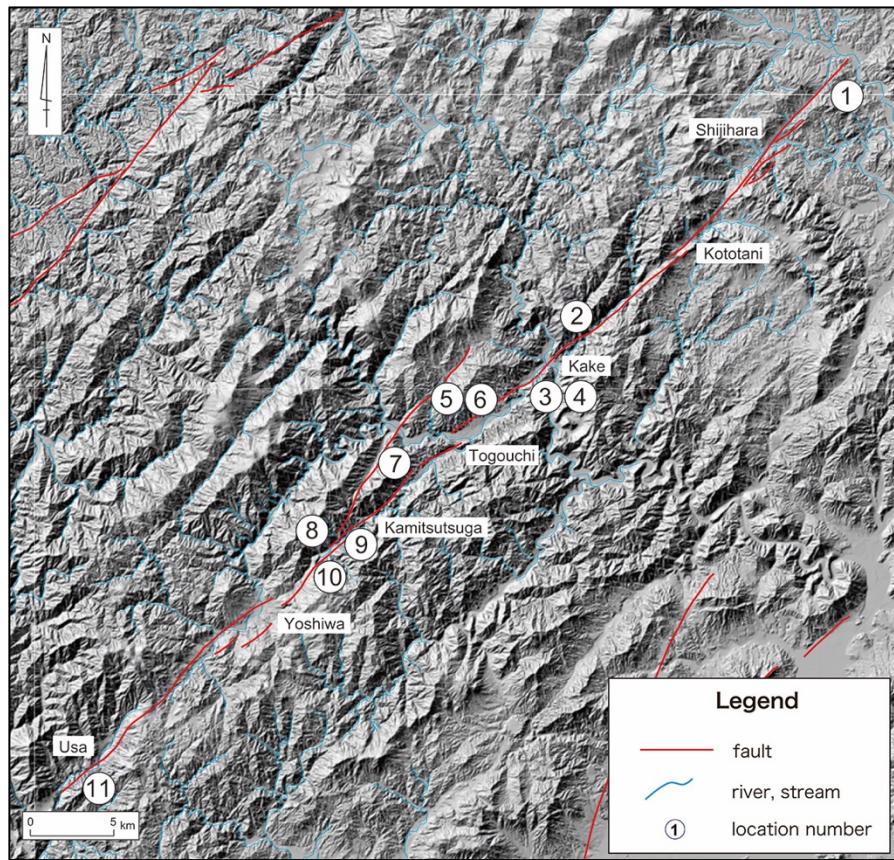
五日市断層および水系の横ずれの計測を実施したその他の活断層の位置図。

基図には「地理院地図」で作成した標高段彩図を使用した。



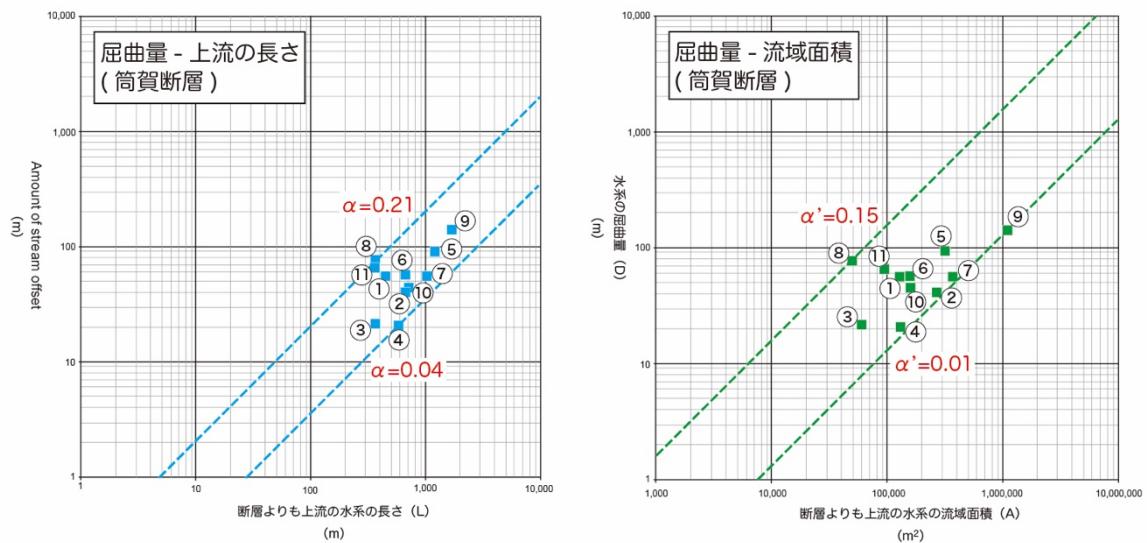
五日市断層における水系の屈曲量と断層よりも上流側の水系の長さ及び流域面積との関係を示すグラフ。

3. 4 筒賀断層の調査



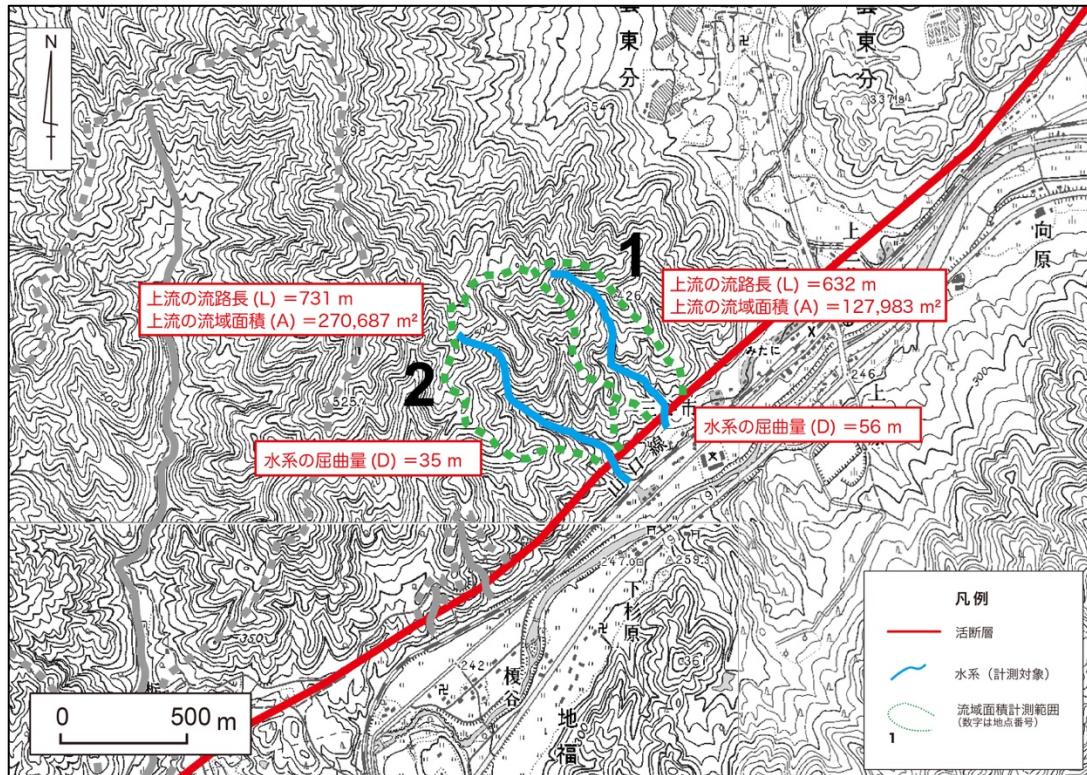
筒賀断層の分布と地形計測を実施した地点の位置図。

基図には「地理院地図」で作成した地形陰影図を使用した。

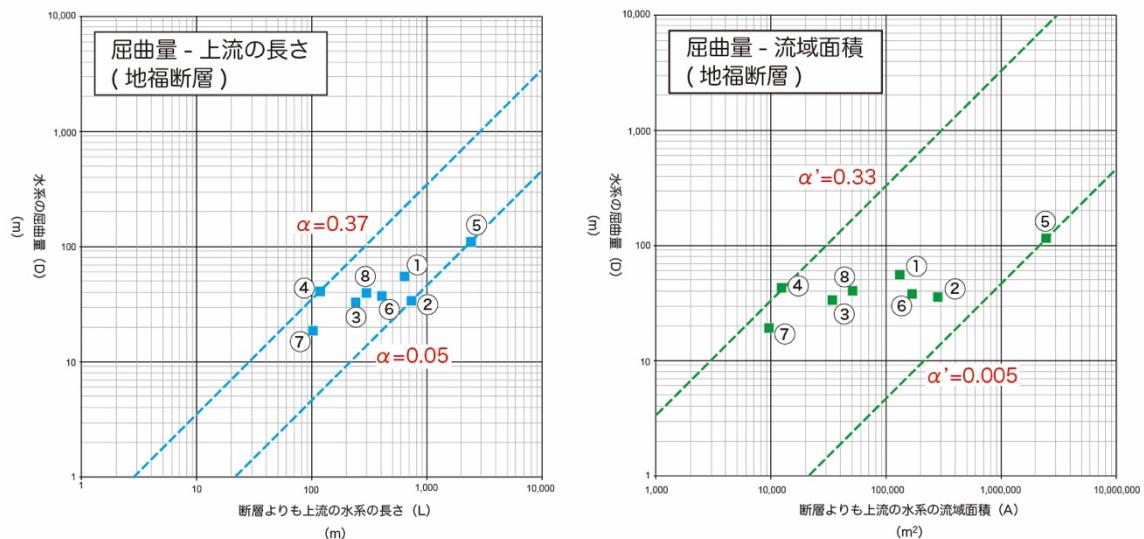


筒賀断層における水系の屈曲量 (D) と断層よりも上流側の水系の長さ (L) 及び流域面積 (A) との関係を示すグラフ。

3. 5 地福断層の調査

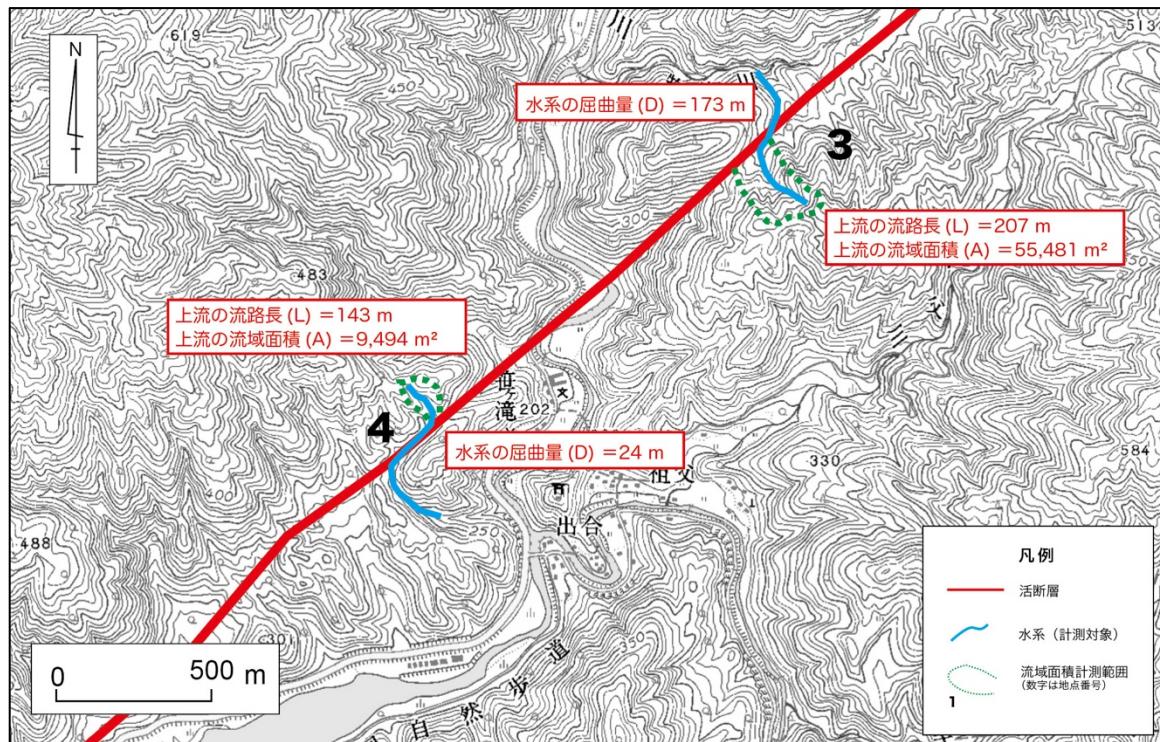


地福断層における水系の屈曲量、長さ、流域面積の計測例。

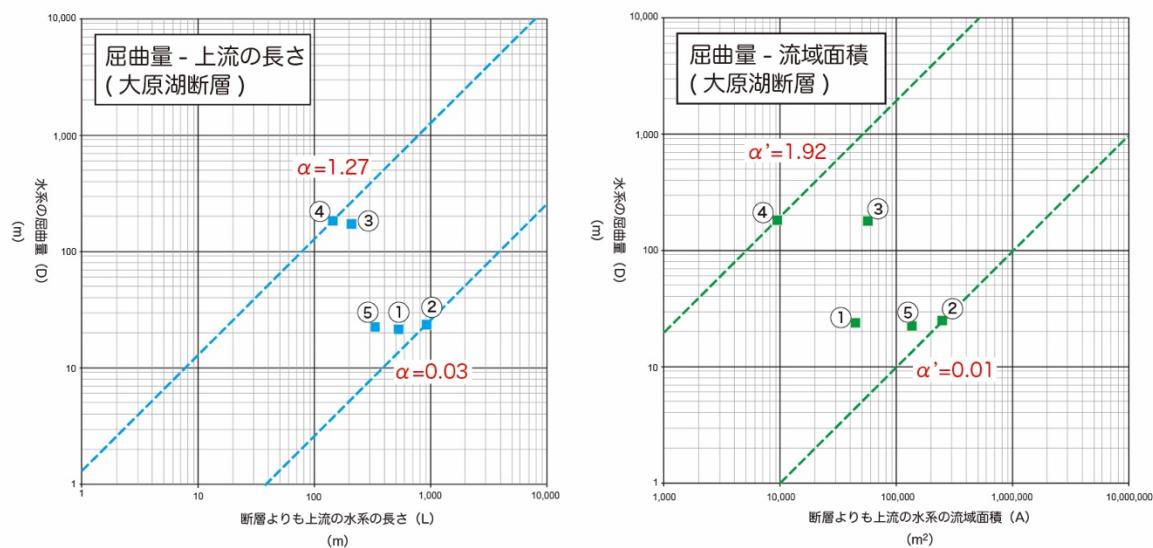


地福断層における水系の屈曲量 (D) と断層よりも上流側の水系の長さ (L) 及び流域面積 (A) との関係を示すグラフ。

3. 6 大原湖断層の調査

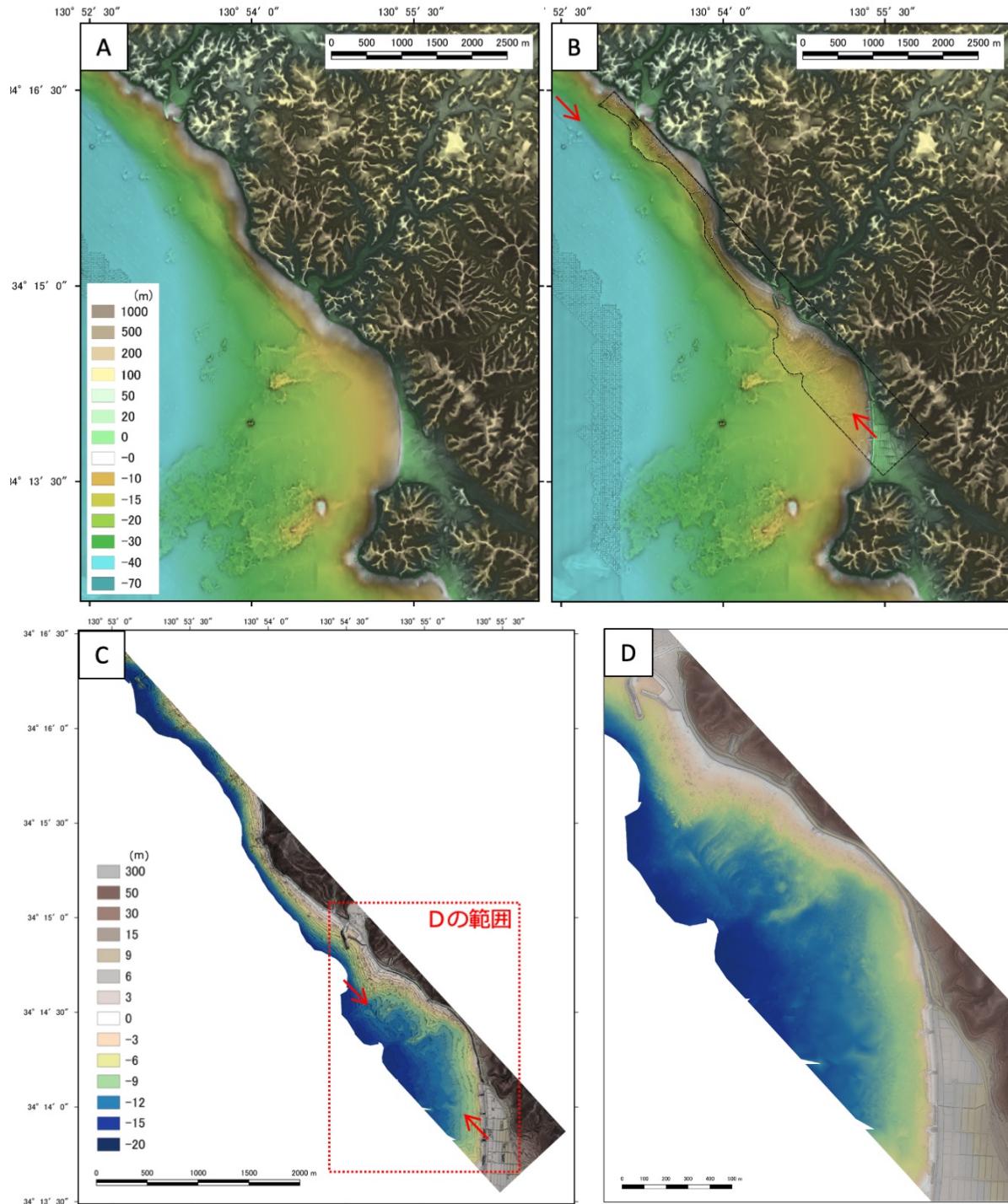


大原湖断層における水系の屈曲量、長さ、流域面積の計測例。



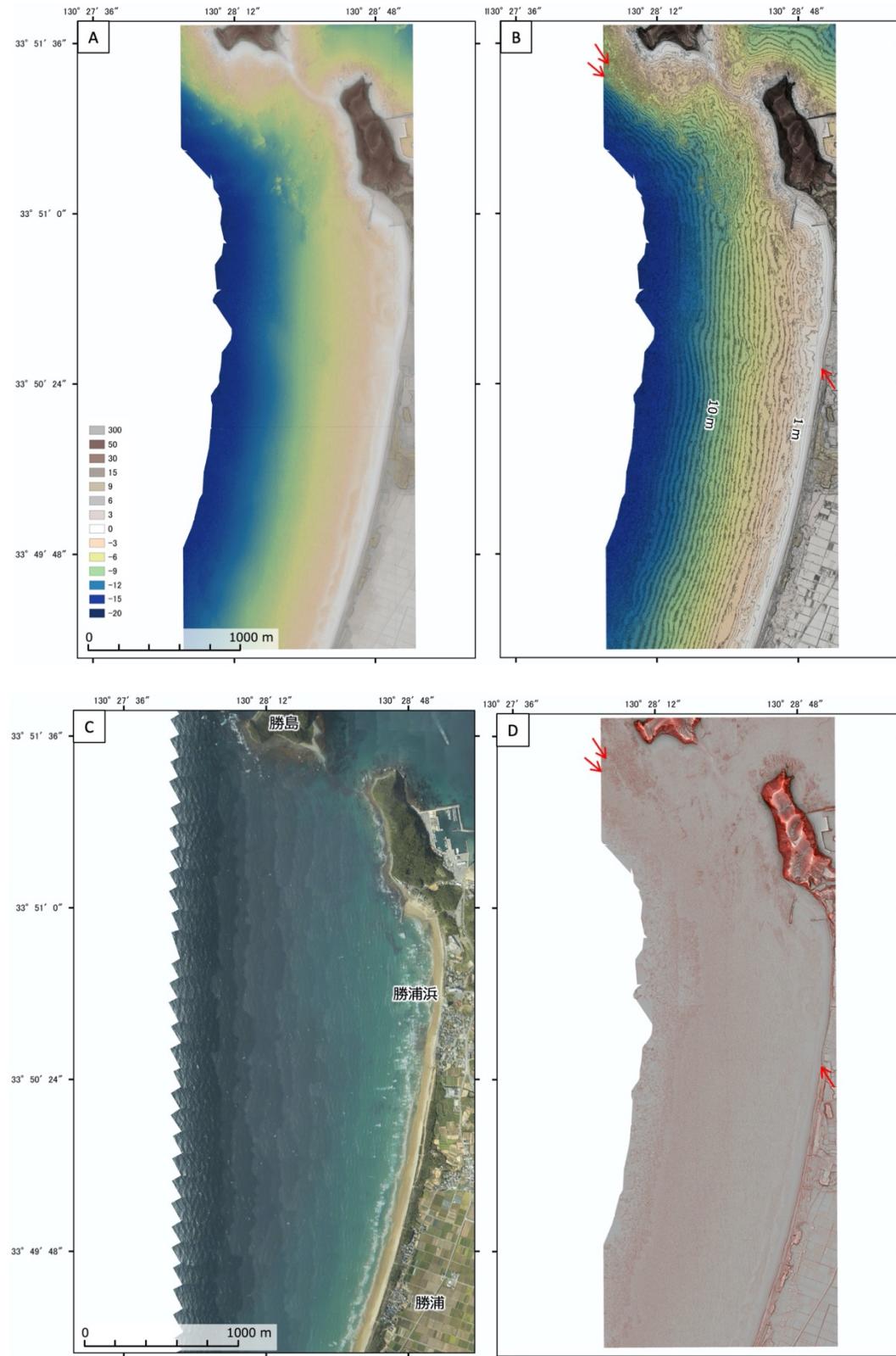
大原湖断層における水系の屈曲量と断層よりも上流側の水系の長さ及び流域面積との関係を示すグラフ。

3. 7 菊川断層帯（南部区間）の調査



菊川断層帯中部区間沿岸海域（山口県下関市豊浦町宇賀本郷沖）の地形。A：既存データから作成した地形段彩図、B：既存データと本業務で実施したALB計測データ（図中破線の範囲）を統合して作成した地形段彩図、C：ALB計測データとグレー化した赤色立体図を重ね合わせた高度段彩図、D：Cの南東部の拡大図。赤矢印は推定断層位置を示す。

3. 8 西山断層帶（西山区間）の調査

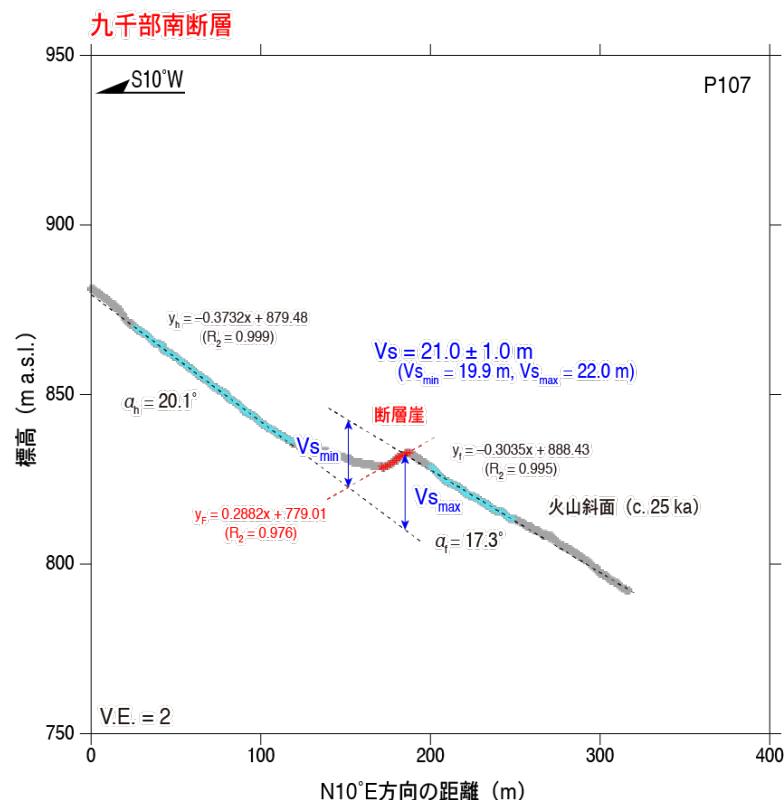


西山断層帶西山区間沿岸海域（福岡県福津市勝浦浜沖）の地形。A、B：ALB 計測データから作成した海底地形の高度段彩図。A：等深線なし、B：等深線（0.5 m）あり。C：簡易オルソフォト、D：赤色立体図。赤矢印はリニアメントを示す。

3. 9 雲仙断層群（北部）の調査



長崎県島原市内の国有林野で実施したボーリング調査風景（断層崖頂部から低下側（南）に向かって撮影）。



高解像度デジタル地形データから作成した雲仙断層群九千部南断層を横切る地形断面
(Vs は地形面の鉛直隔離)。

3. 10 雲仙断層群（南東部）の調査



熊本県宇土市沖で実施した海上ボーリング調査風景。



GS-UT0-1 の深度 0 ~ 18 m のコア写真（左上が深度 0 m）。